京築神楽風版

京築応援団便り付録

イラスト・文：トヨヒメ
監修：クリボウ

京築神楽 豆知識

京築神楽定期公演で上演している紙芝居「しっちょる京築神楽」では神楽を楽しく見るための豆知識を紹介しています。

今回は、京築神楽の演目の中で「神々の舞」についてご紹介しましょう。

式神楽と奉納神楽

神楽の舞は演目とよばれ、京築地域では式神楽と奉納神楽にわけられています。

式神楽は神降ろしの神楽とよばれ、場を清め神様をお招きするための舞が中心です。

一方、奉納神楽はあげ神楽ともよばれ、氏子のリクエストによって奉納されるため様々な演目が用意されています。

演目一覧（代表的なもの）

式神楽
壱番神楽
花神楽
手総神楽
駈仙神楽
弓征護神楽
地割神楽
岩戸神楽

奉納神楽
三神神楽
剣舞
四人剣舞
盆神楽
乱駈仙
綱駈仙
神迎神楽
大蛇退治
湯立神楽

式神楽 その一 神様を迎える神楽

式神楽の代表的な演目が「折居」「御福」「壱番神楽」などと呼ばれる演目です。神降ろしともいわれ、お面をつけず直面で烏帽子をかぶり、幣と扇をもち、東西南北の四方を清めながら四人で舞います。

神楽団体ごとに違いはありますが、神降ろし歌・謂儀とよばれる言上があったり、入れ違いや四方固めの舞など、舞の基本とよべる「神々への舞」なのです。

「初詣」の巻

知っちょる？京築神楽

京築神楽 熊本復興応援チャリティ公演

3月12日（日）
11:00～17:00

■会場 げんきの杜
上毛町八ツ並143-1

■入場料
当日1,000円（前売り900円）
※高校生以下無料

京築地域の９つの神楽団体が、華麗で勇壮な神楽の舞を披露！熊本の復興を応援します。

●問い合わせ
京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局
（福岡県広域地域振興課）
☎092-643-3178

式神楽 その二 一年の順調な流れを祈る地割神楽

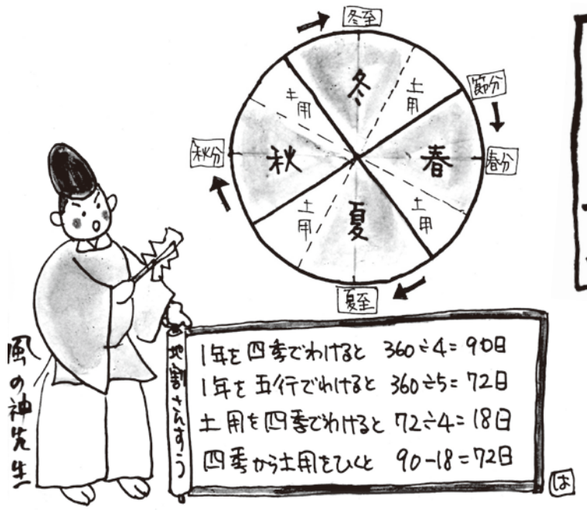
地割神楽は1年の流れをあらわす神楽です。

はじめに、春（青・東）・夏（赤・南）・秋（白・西）・冬（黒・北）の神様によって、それぞれの季節を表す舞が穏やかに舞われます。

ところが、途中から土用（黄・中央）の神があらわれて「1年の中に季節の変わり目（土用）がはいっていない」と怒る舞が始まります。

そこへあらわれた仲裁役の風の神が1年を5つにわけて「木の神、春3月90日より18日をぬきだし土用と号し土神に奉る、残る72日の処を守護したまえ」とそれぞれの季節の間に土用をいれこみ、1年の流れが順調に移行するように治めます。

春からいきなり夏になるのではなく、その変わり目（土用）をはさむことで季節がゆるやかに流れる暦の不思議を地割神楽は伝えています。これは中国の五行思想※の影響と考えられています。

地割算数にも挑戦してみましょう。

※五行思想とは中国古来の自然観における木、火、土、金、水の5要素の関係から自然と人事のいっさいを解釈しようとする思想。